

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(簡水)上灘地区簡易水道統合整備事業			
予算科目	4款 1項 1目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～生活環境の整備			
所管課情報	担当課:	水道課	電話番号(内線):	713
記入者情報	所属長:	野島 康博	担当責任者:	田中 浩二
実施期間	【開始年度】平成 22 年度 【開始年度】平成28年度			
事業の対象	上灘地区簡易水道加入者および未給水区域住民			
事業の必要性	上灘地区の城ノ下・上灘・本郷の簡易水道事業を整備・統合し、また7か所の未給水区域の解消を図り事業統合を行い上水道事業として経営を行う。			
施工方法、場所	【施工方法】	請負	【施工場所】	上灘区域
運営方法	【運営方法】	上水道事業として運営	【運営費(予定)】	
事業の目的	上灘地区の簡易水道事業の統合・整備ならびに未給水区域の解消			
事業の内容	上灘地区簡易水道施設の整備、同地区における未給水区域の解消			
改善策の具体的な取り組み(当初)	地元説明会や占用協議等を早期に実施し、計画的に工事発注を行う。			
改善策の具体的な取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目	26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算	
事業費	直接事業費	673,970	343,667	30	326,161
	人件費	21,476	21,311	80	21,311
	合計	0	364,978	110	347,472
人件費内訳	人工数	2.70	2.65	0.01	2.65
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	21,475	21,311	80	21,311
財源内訳	国庫支出金	211,843	90,535	0	90,535
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	455,600	230,000	0	216,000
	その他	6,562	23,132	0	19,626
	一般財源	21,441	21,311	110	21,311

実施スケジュール							
項目	26年度以前	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降
施設整備	747,708	343,311	494,400				
調査費	151,614						
用地費	35,514						
事務費	340	356	322				
年度別事業費	935,176	343,667	494,722				
財源	国・県支出金	272,444	90,535	142,431			
	地方債	649,800	230,000	284,000			
	その他	12,932	23,132	68,291			
	一般財源						
国・県支出金等名称	簡易水道等施設整備費国庫補助金						

成果指標				
成果指標	進捗率(当該年度実施事業費÷当該年度計画事業費×100)			
指標設定の考え方	事業に対する進捗率が的確に把握できる。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標27年度
目標	0	-	-	0.711
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	地元関係者との協議・調整等を図り、工事の早期発注を行わなければならない。また、河川占用及び道路占用協議を整え事業の効率的・計画的な推進を図る。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	上灘地区簡易水道統合整備事業は、既存の簡易水道施設の統合整備と周辺の7地区の未給水区域の解消を目的とする基盤整備事業として極めて重要な事業であると認識している。今年度は、工事着工から3年目であり、既存の給水区域の管路工事から未給水区域へと整備区間を拡大し、事業の推進を図ったものである。今後は、早期の事業完成を目指して、適切な工程管理・業者指導及び地元関係者との協議・調整等を図りながら円滑な工事進捗に努める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業の目的に対してしっかりとされている。地元とよく協議もされており、評価すべきである。</li><li>・多額の費用を地方債で賅っている。財政の負担が多少なりともかからないよう、常に効率を考えていただきたい。</li><li>・統合のメリットに関して、具体的に分かる費用があるのであれば、示した方が統合する価値が分かると思う。</li><li>・未給水地域の解消を図るといのは、生活インフラを確保することである。計画どおり実施していただきたい。</li><li>・引き続き低コストでより良い水道事業サービスが行える方法を検討いただければと思う</li></ul>
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	